

2025（令和7）年度の事業報告書

2025年1月1日から2025年12月31日まで

認定NPO法人みやっこサポート

1. 事業の成果

今年度は、これまで積み重ねてきた活動を基盤に、こどもたちの居場所づくりや食支援、学びの機会の提供を継続するとともに、地域の多様な世代が安心してつながることのできる場づくりを実施しました。

学校に行きづらさを感じるなどの課題を抱えるこどもたちが安心して過ごせる居場所として、フリースペース IROHA の運営を継続するとともに、興味や関心をきっかけとした学びの機会として『IROHA らぼ』を実施しました。

『みやっこ食堂』や『みやっこ弁当』、フードパントリーなどを通じて地域のこどもや家庭への食支援も継続しました。食を通じた支援は、家庭の状況を把握し、相談支援や他機関との連携につながる重要な活動となっています。

さらに、高齢者を対象とした歌の教室や食堂も継続し、地域の高齢者が気軽に集い交流できる場となりました。

また、能登半島地震および豪雨の被災地支援として、スタッフおよび学生ボランティアとともに現地での支援活動に参加しました。復興支援に関わるとともに、被害の状況や復旧が進まない現状などの課題を現場で直接見てもらい、被災地の方々の思いや地域の力強さに触れる経験を通して、災害の多い日本において社会に何が必要かを考える貴重な学びの機会となりました。

前年度に開所した放課後等デイサービスについても運営が安定し、不登校や発達特性など様々な課題を抱えるこどもたちに対して継続的な支援を行うことができました。

近年、不登校児童生徒は全国的に増加しており、学校以外の多様な学びや居場所の必要性が高まっています。当法人では、こどもたちが安心して過ごせる居場所を大切にしながら、遊びや体験活動、興味関心をきっかけとした学びの機会を通して、それぞれの個性を伸ばし将来に向けて一歩踏み出すことができる環境づくりを進めてきました。

また、「こども主体」の取り組みも大切にし、こども会議や文化祭、IROHA ブランドの活動などを通して、こどもたちが社会の中で自分の役割や可能性を見つける機会にも取り組みました。

これらの活動を通して、こどもから高齢者まで多世代がつながり、互いに支え合う地域づくりを目指し、今後も地域の方々とともに歩みを進めていきたいと考えています。

■情報支援事業

福祉情報を必要とする人に届ける仕組みづくりとして、福祉情報支援サイト『ささえてネット』のシステム構築に向けた計画を進めました。

キントーンや各種プラグイン等を活用し、法人内で運営・更新が可能な仕組みづくりを進めることで、地域の支援情報を集約し、必要な人が必要な支援にたどり着きやすい環境づくりを目指し

ています。

また、将来的には本事業を収益事業として発展させ、活動の継続的な運営につながる仕組みづくりを目標としています。

■地域福祉促進事業

【市民交流活動】

歌の教室と食堂を組み合わせた交流活動を年間 10 回開催し、延べ 43 名が参加しました。地域の高齢者を中心に、食事を囲みながら交流することで、地域のつながりづくりを促進する機会となりました。

■こども支援事業

【みやっこ食堂】

昼食の「みやっこランチ」を 146 回開催し、876 名が参加しました。夕食の「みやっこ食堂」は 23 回開催し、延べ 1,228 名が参加しました。地域のこどもや家族が集まり、温かい食事を囲みながら交流を楽しむ場として、地域のボランティアの協力のもと継続することができました。

【みやっこ弁当】

家庭状況などによりサポートが必要な 18 家庭を対象に、31 回、合計 1,373 個のお弁当を配布しました。定期的に家庭と関わることで、生活状況の把握や相談支援につながる重要な取り組みとなりました。

【フリースペース IROHA】（不登校児童の居場所）

学校に行きづらさを感じているこどもたちが安心して過ごせる居場所として 146 回開催し、延べ 870 名のこどもたちが参加しました。遊びや交流を通して元気を取り戻し、それぞれのペースで安心して過ごすことのできる場となっています。

【IROHA らぼ】（不登校児童の学びの機会）

衣装づくり、ギター、英会話、ボードゲーム、調理などの体験型の学びの機会として 44 回開催し、延べ 190 名のこどもたちが参加しました。こどもたちが興味を持つ活動をきっかけに、楽しみながら学ぶ機会を提供する取り組みとなりました。

【IROHA ブランド】

「IROHA CURRY」の販売を継続し、こどもたちが社会と関わる機会づくりを行いました。調理や販売、配達などの活動にこどもたちが関わることで、働く体験や社会とのつながりを実感できる機会となりました。

【こども会議】

こどもたちが主体となり、話し合いながら企画する「こども会議」を実施しました。文化祭などの取り組みを通して、自ら考え行動する経験の機会となりましたが、一方で、継続的な参加につ

なげることの難しさもあり、今後の運営方法について検討していく必要があると感じています。

■生活サポート事業

【相談支援】

問題を抱えるご家庭のサポートを継続的に行い、生活や子育てに関する相談に対し、他団体やボランティアと連携しながら対応しました。

【生活サポート】

サポーター不足から事業を縮小して実施しました。

【食サポート】

事務所前でフードパントリーを 23 日開催し、食料支援を必要とする家庭へ食品の提供を行いました。

【能登復興支援】

能登半島地震・豪雨の被災地支援の一環として、スタッフおよび学生ボランティアとともに現地での支援活動に参加しました。

現地では、ボランティア活動の拠点の整備や、地域の農作業の手伝いなどを行いました。

こうした活動を通して、被災地の現状を知るとともに、参加した学生ボランティアにとっても、地域社会の課題や人と人が支え合うことの大切さを学ぶ貴重な経験となりました。

■児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

【ラチェリアン放課後等デイサービス】

232 日開所し、延べ 1,416 名のこどもたちが利用しました。

フリースペース IROHA を利用しているこどもたちを中心に、新たな利用者も増え、発達特性や学校生活に課題を抱えるこどもたちに対して、それぞれの状況に応じた支援を行うことができました。

■その他の事業

本年度、法人の目的を達成するために必要なその他の事業は特に実施しませんでした。

2. 地域連携

西宮市、西宮市社会福祉協議会、地域の各団体、他のNPO法人等と連携しながら、こどもや家庭を取り巻く社会課題の解決や緩和に向けた取り組みを進めました。

地域の関係機関やボランティアとの協力により、支援が必要なこどもや家庭を地域全体で見守り、支える体制づくりにつながりました。

3. 今後の課題

不登校や生きづらさを抱えるこどもたちは年々増加しており、安心して過ごせる居場所や学びの機会、継続的な支援の必要性はますます高まっています。

その一方で、活動を継続していくための人材や財源の確保は大きな課題となっています。

今後は、地域のボランティアや関係団体との連携をさらに深めながら支援体制の充実を図ると

ともに、活動を持続的に運営できる仕組みづくりを進めていく必要があります。

さらに、当法人の活動はこども支援を中心としながらも、高齢者をはじめとした地域の多世代が安心してつながることのできる居場所づくりを目指しています。

こどもたち一人ひとりの思いや状況を大切にしながら、居場所づくりと学びの機会の両方を支える取り組みを継続するとともに、多世代が支え合う地域づくりに今後も取り組んでいきます。また、こどもたちが支えられる存在にとどまらず、社会の中で自分の役割を見つけ、誰かを支える側へと成長していくことを目標に、こどもたちが地域や社会とつながりながら、自分の良き個性を伸ばし、その力を発揮できる環境づくりに取り組んでいきます。

3、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者	事業費の金額 (概算) (単位：千円)
① 情報支援事業	要支援者に必要な社会資源の情報を掲載した福祉情報サイトの構築、運営	(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 6名	(D) 西宮市民 ・その他	922
② 地域福祉促進事業	市民交流活動：市民のコミュニティづくり、楽しみづくり、市民生活の向上を目的としたイベントや教室、勉強会などの開催 ア) 高齢者の『歌の教室』 イ) 食堂 ウ) その他のイベント	(A) ア) 第2 木曜日 10:00～11:30 イ) 第2 木曜日 11:30～12:30 ウ) 随時 (B) レンタルスペース SUN-TA その他 (C) 4名	(D) 西宮市民 (高齢者)・その他	166
③ こども支援事業	ア) 無料学習教室 イ) みやっこ食堂 (こども食堂) ウ) みやっこ弁当 (こども弁当) エ) フリースペース IROHA (不登校児童の居場所) オ) IROHA らぼ (不登校児童の学び場) カ) その他、こどもとその家族の支援を目的としたイベントなど	(A) ア) 未開催 イ) 昼：毎週 月・水・金曜日 12:00～13:00 夜：月 2回金曜日 17:30～19:30 ウ) 8/7～12/25 毎週 木曜日 14:00～17:00 エ) 毎週 月・水・金曜日 9:00～15:00 オ) 毎週 火曜日 10:00～14:00 カ) 7月26日 『不登校のこどもの進路を考える集い』 11月29日 『にしのみやこどもフェスタ 2025』 (B) WE-SPACE レンタルスペース SUN-TA 屋外 (C) 22名	(D) 西宮市民 (不登校のこども)	11,880

④ 生活サポート事業	生活に必要なサポート	(A) 随時 (B) 事務所 支援を実施する場所 (C) 5名	(D) 西宮市民 ・その他	823
⑤ 介護保険法に基づく居宅介護支援事業および介護予防支援事業	居宅介護支援事業所 訪問介護事業所 予防訪問介護事業所	(A) 随時 (B) 事務所 (C) 0名	(D) 西宮市民 ・その他	0
⑥ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	ラチェリアン放課後等デイサービス	(A) 月・火・水・木・金曜日 学校開校日 14:00～17:00 学校休校日 11:00～17:00 (B) リタルスペース SUN-TA (C) 10名	(D) スペシャルニーズのあるこども	11,512
⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	定款第5条第1号～第6号には規定されていないものの、法人として実施が必要となった事業について、定款第3条及び第4条に規定する範囲内において、単年度又は試験的に限り実施する。			